

令和6年度 第2回ニセコ町まちづくり基本条例第5次改正検討委員会
議事録 まとめ

《第4次答申の振り返りについて》

○条例を風化させず、一層の浸透を図る取り組み

- ・基本条例の根本や原則のような事実を伝えることは簡単だが、当時の熱意を伝えることが大切
- ・職員に対しては職員研修で伝えているが、30分～40分の1コマのため本当の意味で伝わっているかは個人差があるように感じる
- ・当時の想いが引き継がれるような取り組みが必要ではないか
- ・大学と連携してゼミ学習のテーマとして取り上げてもらうのも良いかもしれない

○コミュニティのあり方について

- ・コロナ禍を挟んだことで人とのつながりが希薄になった部分があるように感じる
- ・継続して行ってきたことが途切れるという怖さがある
- ・町内会に加入する、加入しないの判断材料が必要ではないか
- ・なぜ町内会が存在するかの部分が抜けており、煩わしく感じる部分だけがフォーカスされているような印象がある
- ・転入時に町内会長名簿を配布されるだけでは加入に対するハードルが高い
- ・町内会に加入するための仕組みを明確化する必要があるかもしれない

○情報伝達のあり方について

- ・強制的にポストに届く紙の広報誌は重要だと感じている
- ・SNS等での情報発信だけになってしまうと「町について考えましょう」といった記事が届かなくなる恐れがある
- ・情報発信という視点では防災ラジオが配布されているのはニセコ町の特徴

《まちづくり町民講座の開催について》

- ・10月17日（木）18時00分～釧路公立大学の名塚先生を招き開催予定
- ・生配信についても検討

《今後の予定について》

- ・まちづくり町民講座で出た意見の集約を行い、第3回目検討委員会の開催を行う
- ・検討委員会での意見を踏まえ答申（案）の下地を作成

以上